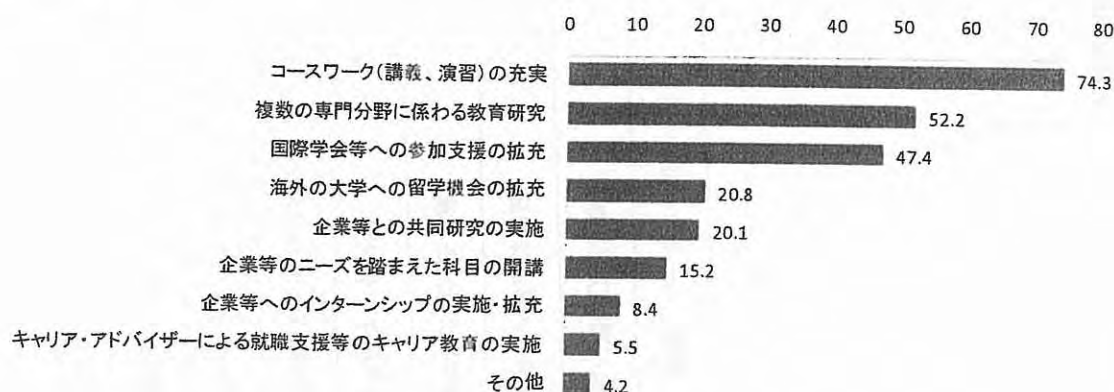


2.6 教育研究上重視している取り組み

教育研究上重視している取り組みとしては、「コースワーク（講義、演習）の充実」が74%と群を抜いている。さらに、「複数の専門分野に係わる教育研究」が52%、「国際学会等への参加支援の拡充」が47%で上位を占めている。「その他」に記入された内容としては、

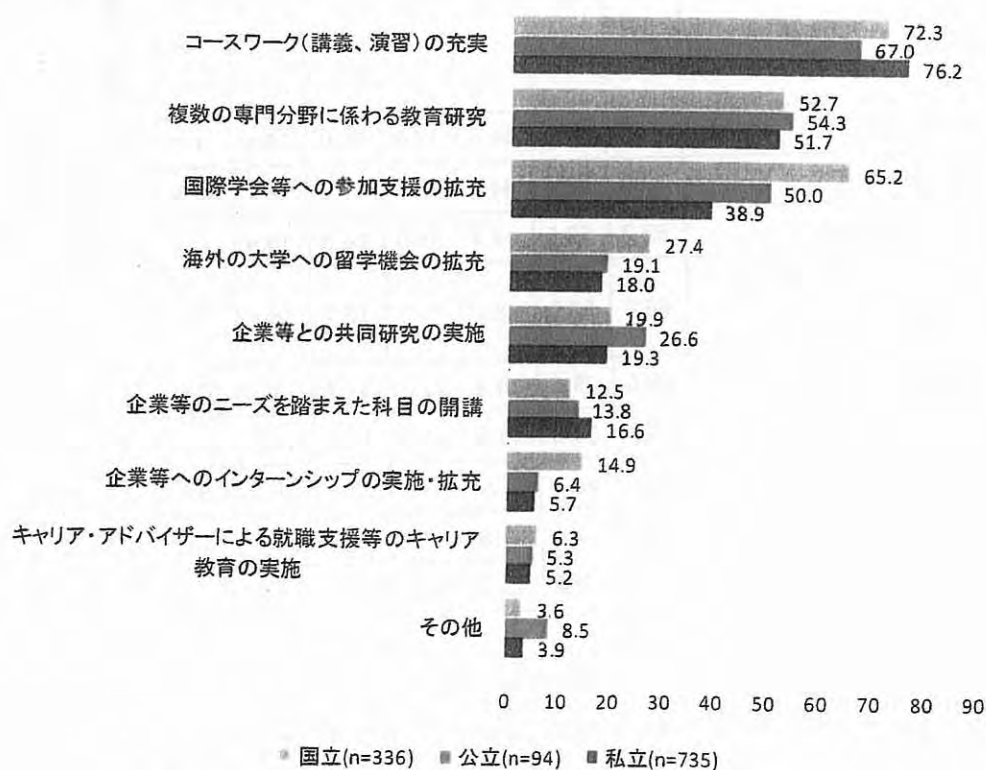
- ・ RA による生活支援、TA による教育経験支援
- ・ フィールドワーク
- ・ 学位論文の指導
- ・ 学会活動の支援

などが主なものであった。



図Ⅲ-12 教育研究上重視している取り組み(n=1165)

大学の設置区分別に教育研究上重視している取り組みをみると、どの区分についてもほぼ同様の回答傾向を示している。



大学の設置区分別教育研究上重視している取り組み(%)

大学院の所在地別に教育研究上重視している取り組みについてみると、東北地方で「国際学会等への参加支援の拡充」の回答割合が他の地域よりも高く、また、中部地方および四国地方では「企業等との共同研究の実施」の回答割合が他の地域に比べて高い傾向がみられた。一方、東京都では「企業等との共同研究の実施」の回答割合が、東京都以外の関東地方では「企業等のニーズを踏まえた科目の開講」が他の地域に比べて回答割合が低かった。

表Ⅲ-6 大学院の所在地別教育研究上重視している取り組み(%)

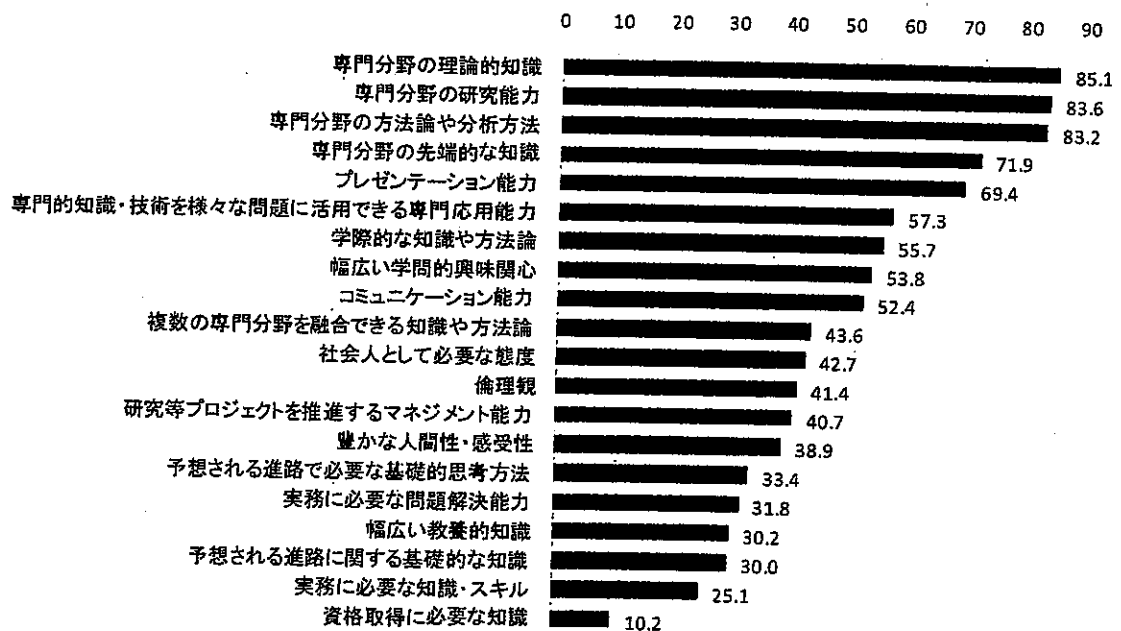
	コースワーク(講義、演習)の充実	複数の専門分野に係わる教育研究	国際学会等への参加支援の拡充	海外の大学への留学機会の拡充	企業等との共同研究の実施	企業等のニーズを踏まえた科目の開講	企業等へのインターンシップの実施・拡充	キャリア・アドバイザーによる就職支援等のキャリア教育の実施	その他
北海道(n=45)	84.4	60.0	44.4	17.8	20.0	15.6	6.7	8.9	2.2
東北地方(n=51)	70.6	39.2	64.7	17.6	17.6	13.7	11.8	7.8	5.9
東京都(n=243)	82.7	53.5	44.4	28.0	14.0	15.6	7.4	7.0	1.6
東京都以外の関東地方 (n=166)	68.7	53.0	48.2	15.7	18.7	8.4	7.2	5.4	4.2
中部地方(n=141)	69.5	49.6	50.4	22.0	27.7	17.7	10.6	5.0	6.4
近畿地方(n=289)	74.0	53.3	43.3	24.6	19.4	14.9	10.0	4.5	4.5
中国地方(n=81)	70.4	48.1	51.9	8.6	23.5	21.0	6.2	3.7	2.5
四国地方(n=23)	56.5	34.8	47.8	8.7	39.1	13.0	13.0	4.3	8.7
九州・沖縄地方(n=121)	74.4	55.4	49.6	14.9	21.5	18.2	5.0	5.0	6.6

専攻分野別にみると、理学系で「国際学会等への参加支援の拡充」の回答割合が、また、工学系で「企業等のニーズを踏まえた科目の開講」の回答割合が、それぞれ他の分野よりも少し多くなっている。

27 身につけさせたい知識・技能・態度

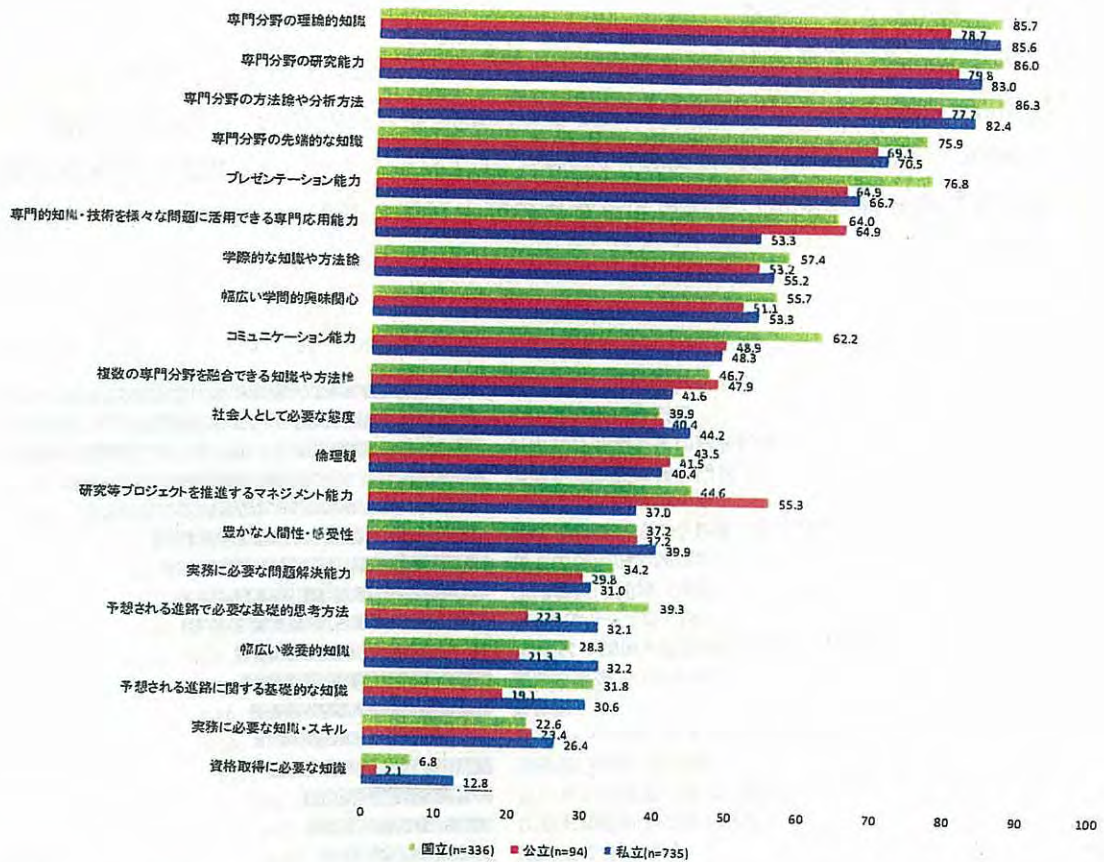
博士課程（後期）での教育研究を通じて学生に身に付けさせたい知識・技能・態度については、最も回答割合の高かったのは「専門分野の理論的知識」の85%であり、「専門分野の研究能力」の84%、「専門分野の方法論や分析方法」の83%が続いており、上位3項目が拮抗している。これらの結果は、専門的な能力の強化に関わる項目が上位にランクされていると見ることができる。

次には「専門分野の先端的な知識」の72%、「プレゼンテーション能力」の70%、「専門的知識・技術を様々な問題に活用できる専門応用能力」の57%、「学際的な知識や方法論」の56%、「幅広い学問的興味関心」の54%、「コミュニケーション能力」の52%が続いている。専門的知識を生かして活用するための能力が第2グループにランクされていることが分かる。



図Ⅲ-13 教育研究を通じて身につけさせたい知識・技能・態度(n=1165)

大学の設置区分別に身につけさせたい知識・技能・態度をみると、国立大学では「専門的知識・技術を様々な問題に活用できる専門応用能力」および「予想される進路に必要な基礎的思考方法」の回答割合が他の区分より高く、「資格取得に必要な知識」の回答割合が他の区分より低かった。また、公立大学では、「予想される進路に関する基礎的な知識」および「予想される進路に必要な基礎的思考方法」の回答割合が他の区分より低かった。私立大学では、「資格取得に必要な知識」の回答割合が他の区分より高いが、「専門的知識・技術を様々な問題に活用できる専門応用能力」、「コミュニケーション能力」、「研究等プロジェクトを推進するマネジメント能力」の回答割合は他の区分よりも低くなっている。



図Ⅲ-14 大学の設置区分別教育研究を通じて身につけさせたい知識・技能・態度(%)

次に、大学院の所在地別に身につけさせたい知識・技能・態度をみると、北海道では「専門分野の方法論や分析方法」、東北地方では「予想される進路に関する基礎的な知識」の、東京都では「幅広い教養的知識」、九州・沖縄地方では「豊かな人間性・感受性」の回答割合がそれぞれ他の地域と比べて高かった。また、近畿地方では「専門分野の研究能力」、中国地方では「研究等プロジェクトを推進するマネジメント能力」、四国地方では「倫理観」の回答割合がそれぞれ他の地域に比べて低かった。

専攻分野別では、保健系で「専門分野の研究能力」、「専門分野の方法論や分析方法」、「学際的な知識や方法論」、「実務に必要な知識・スキル」などの項目の回答割合が他の分野より高く、また、理学系では「専門分野の理論的知識」、「プレゼンテーション能力」、「コミュニケーション能力」などの項目の回答割合が他の分野よりも高かった。

表Ⅲ-7 大学院の所在地別教育研究を通じて身につけさせたい知識・技能・態度(%)

	専門分野の理論的知識	専門分野の研究能力	専門分野の方法論や分析方法	専門分野の先端的な知識	プレゼンテーション能力	専門的知識・技術を様々な問題に活用できる専門応用能力	学際的な知識や方法論	幅広い学問的興味関心	コミュニケーション能力	複数の専門分野を融合できる知識や方法論	社会人として必要な態度	倫理観	研究等プロジェクトを推進するマネジメント能力	豊かな人間性・感受性	予想される進路に必要な基礎的思考方法	実務に必要な問題解決能力	幅広い教養的知識	予想される進路に関する基礎的な知識	実務に必要な知識・スキル	資格取得に必要な知識
北海道(n=45)	83.3	91.1	95.6	71.1	73.3	57.8	48.9	64.4	48.9	40.0	44.4	42.2	37.8	42.2	46.7	40.0	38.3	35.6	35.6	8.9
東北地方(n=51)	80.4	82.4	90.2	68.6	80.4	64.7	49.0	47.1	60.8	43.1	41.2	41.2	33.3	43.1	39.2	41.2	31.4	45.1	35.3	9.8
東京都(n=243)	87.7	86.8	83.5	72.4	67.1	55.6	60.9	62.1	50.6	47.7	38.3	40.3	40.7	37.9	36.4	27.2	36.2	30.0	23.0	14.0
東京都以外の関東地方 (n=166)	86.1	85.5	85.1	77.7	72.3	53.0	62.4	47.0	57.2	38.6	47.6	45.2	40.4	39.8	31.9	36.7	27.1	32.5	27.7	9.0
中部地方(n=141)	89.4	86.5	80.1	72.3	70.9	64.5	58.9	53.9	52.5	44.0	48.2	45.4	45.4	40.4	35.5	36.2	24.1	31.2	22.0	5.7
近畿地方(n=289)	81.3	79.2	83.0	71.3	65.4	56.1	55.7	52.9	49.8	46.4	39.8	40.1	43.9	34.5	30.1	26.6	30.8	24.9	22.1	9.0
中国地方(n=81)	79.0	79.0	80.2	71.6	69.0	56.8	51.9	46.9	46.9	35.8	42.0	38.3	27.2	39.5	23.5	25.9	23.5	22.2	19.8	8.6
四国地方(n=23)	78.8	87.0	69.6	73.9	78.3	56.5	43.5	43.5	47.8	34.8	26.1	17.4	34.8	26.1	30.4	43.5	34.8	30.4	21.7	13.0
九州・沖縄地方(n=121)	86.0	81.0	82.6	66.9	74.4	59.5	55.4	54.5	57.0	42.1	48.8	43.8	43.0	47.9	35.5	37.2	30.6	34.7	32.2	13.2